

経営比較分析表（令和5年度決算）

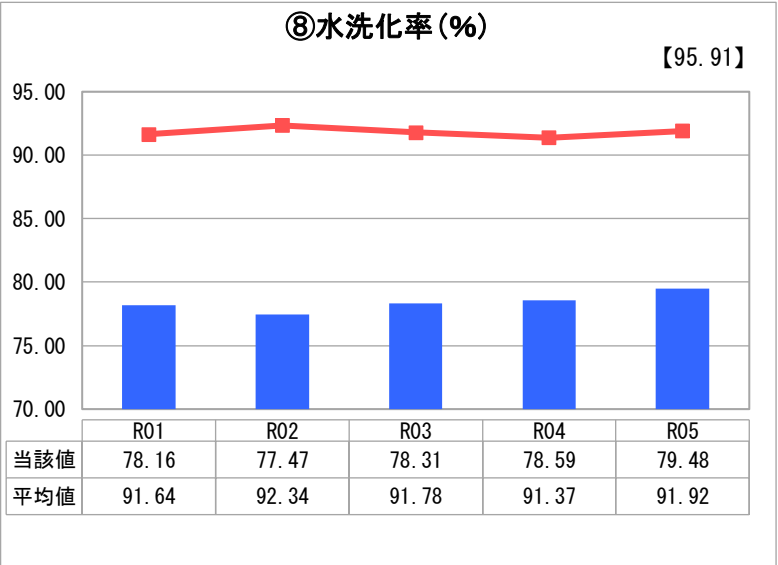
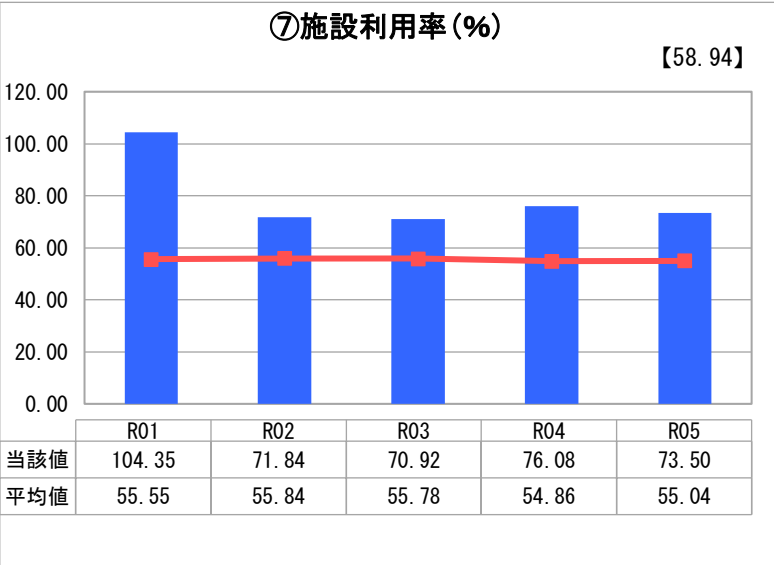
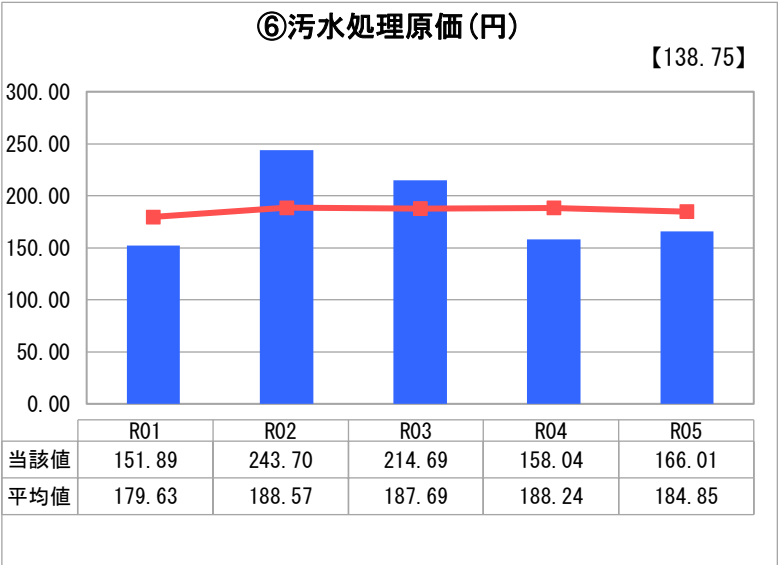
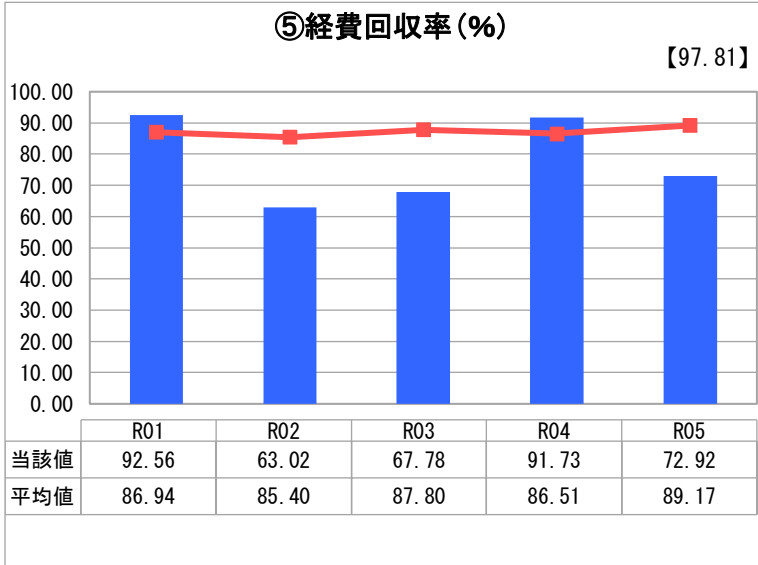
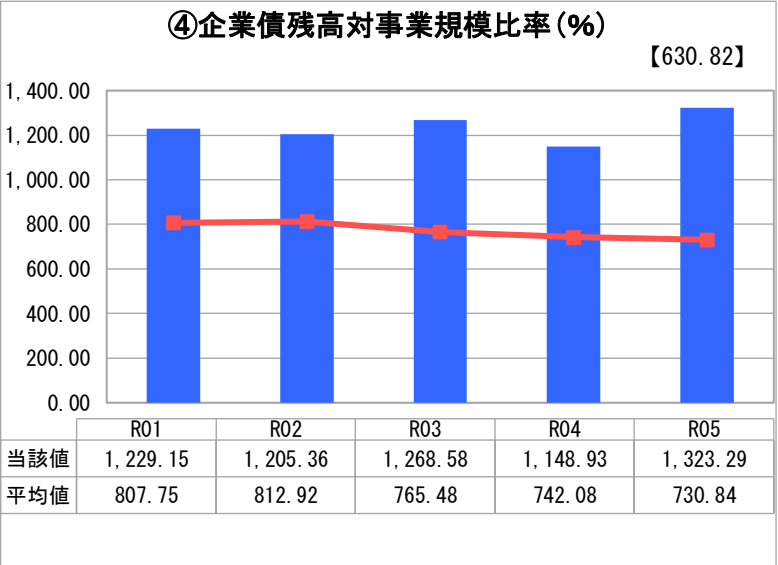
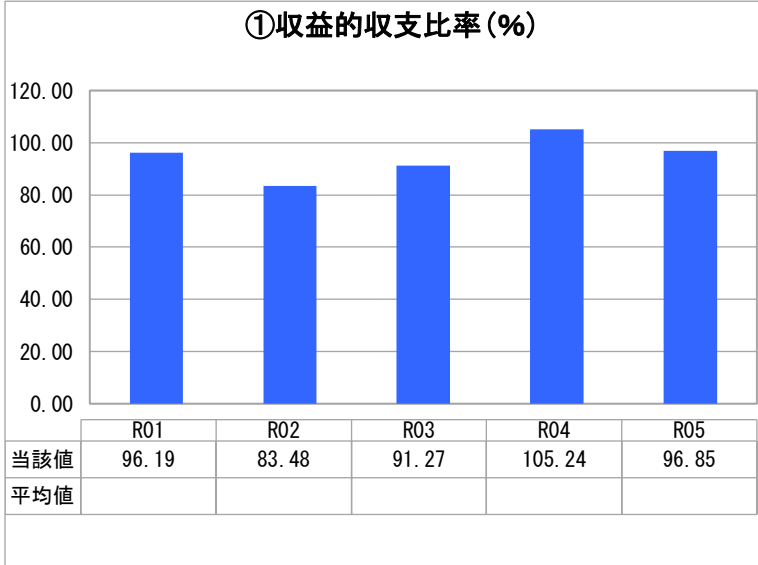
熊本県 阿蘇市

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法非適用	下水道事業	公共下水道	Cd1	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)
-	該当数値なし	27.00	56.84	2,585

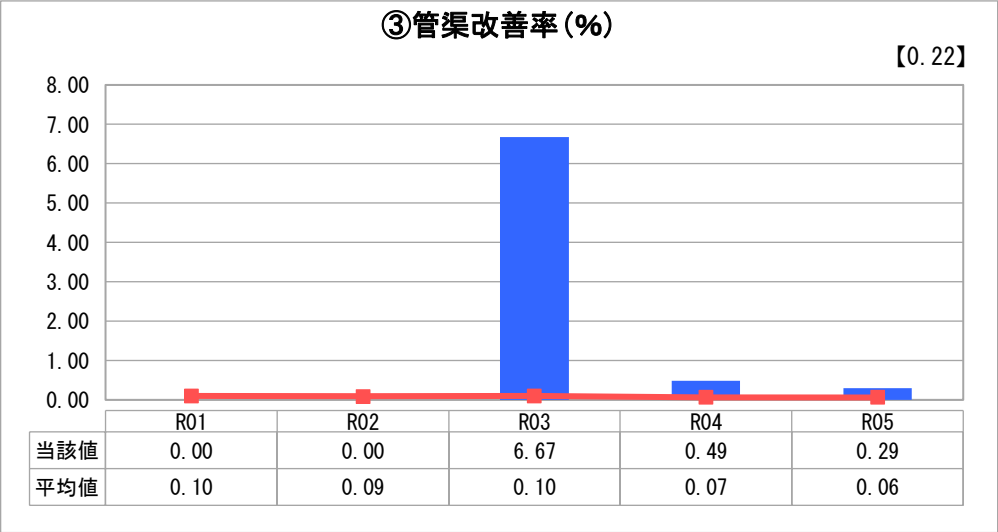
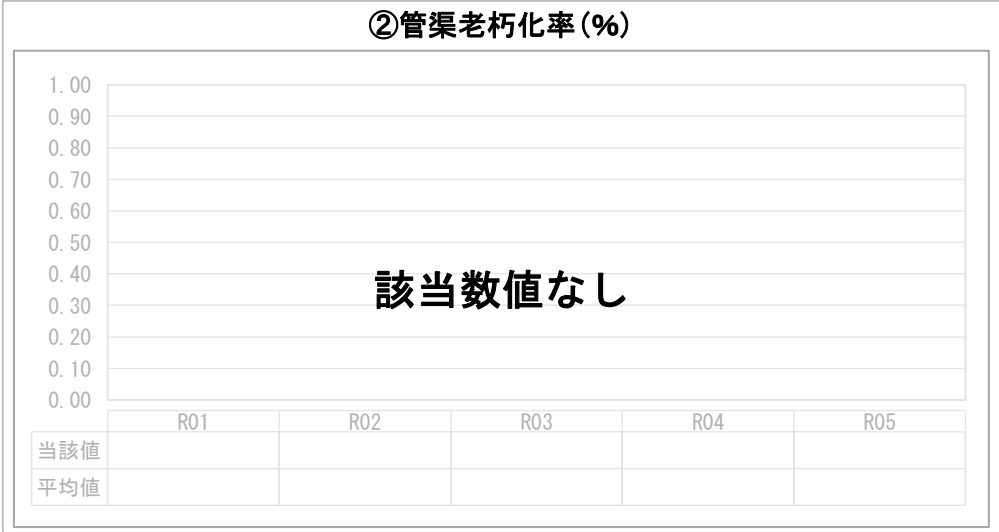
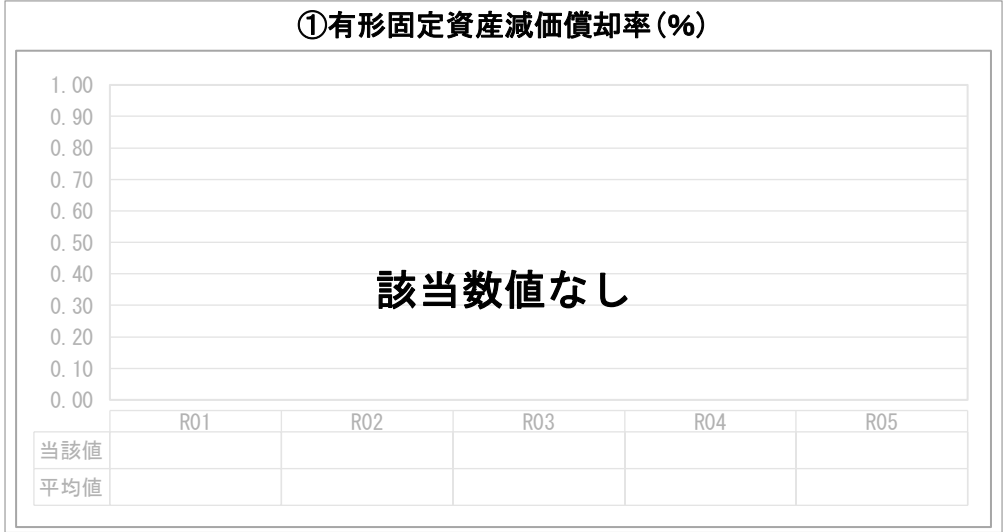
人口（人）	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
24,526	376.30	65.18
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
6,570	4.00	1,642.50

グラフ凡例
■ 当該団体値（当該値）
— 類似団体平均値（平均値）
【】 令和5年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

①収益的収支比率について
前年度から8.39%下降しており、今後も人口減少に伴う利用料金の減収も懸念されるなかで、今後も施設更新等に備えた対策は継続していかなければならない。

④企業債残高対事業規模比率について
類似団体平均値を上回っているのは、これまで企業債を主な財源として事業を推進してきたことによるものである。今後も、未普及対策や終末処理場の耐震・改築工事を予定しており、使用料金の見直しが必要な状況となっている。

⑤経費回収率について
令和5年度は法適用企業への移行に伴い、下水道使用料等の収入面で打ち切り決算による影響もあり、前年度から18.81%下降している。

⑥污水处理原価について
類似団体平均値以下の数値ではあるが、今後は人口減少や節水対策等に伴い年間有収水量も減っていくことが予想されるため、接続率を上げる取り組み等に努める。

⑦施設利用率について
全国の平均よりも以前より高く推移しているが、これは不明水によるものであるため、管路点検調査を行う等、不明水対策を継続して行っている。

⑧水洗化率について
微増傾向にはあるが、類似団体平均値及び全国平均よりも低い状況にあり、未普及事業を進めながら水洗化率の向上に繋がる取り組みを進めていかなければならない。

2. 老朽化の状況について

終末処理場においては、耐震・改築更新を計画的に行っているが、老朽化も進む中で予算の状況により、当初の計画より遅延している。

管渠については、ストックマネジメント計画に基づき、緊急性の高い箇所の修繕・改築工事を随時行っていく。

全体総括

施設の老朽化による耐震・改築更新費用の増加や人口減少に伴う利用料金の減収から、今後の経営状況は厳しさを増すことが懸念される。

このため、経営戦略の見直しを実施し、老朽化した施設の計画的な更新と、併せて使用料金等の見直しを進める必要がある。

※ 法適用企業と類似団体区分が同じため、収益的収支比率の類似団体平均等を表示していません。